

## 令和3年度静岡県立こども病院医師宿舎等水道管改修工事 質疑に対する回答

No.	質問事項	質問内容	回答
1	凡例の撤去箇所表記と撤去工事について	図番M-03にて凡例に撤去箇所(×)と残置配管の記載がありますが、図面上には撤去箇所の(×)表記がありません。しかし図番M-04の共同溝参考図には既設給水管は新設配管切替後撤去と記載されております。図番M-03に記載されている配管は撤去と読み替えてよろしいでしょうか。また、参考数量書について、給水設備工事(屋外)の項目にて撤去工事の記載が無く、既設管の閉栓工事、土工事、アスファルト解体復旧、撤去工事費用はどのように考えればよろしいでしょうか。回答をお願いします。	共同構内既設配管は残置としてください。既存引込管の閉栓は見込むものとし、土工事にて舗装解体復旧も見込んでください。
2	水道本管について	図番M-03より引込み箇所が記載されておりますが、こちらは引込み管の閉栓、撤去と読み替えてよろしいでしょうか。また、その際に舗装解体復旧が必要になると思われますが、その場合は数量書の項目に追加するのか、土工事の1式に追記するのか回答をお願いいたします。	既存引込管の閉栓・撤去見込んでください。舗装解体復旧については土工事1式に追記をお願い致します。
3	水道本管引込みについて	図番M-04より市水道管より引込みと記載されておりますが、既設100mm管より分岐するには、(既設配管に仕切弁が無ければ)不断水バルブが必要になります。また地中配管箇所において、土工事、アスファルト解体復旧工事等が発生すると思われます。これらの作業は数量書の項目を追加するのか、土工事の1式の中に追記するのか回答をお願いします。	既設配管に仕切弁がありますので、不断水バルブは不要です。
4	舗装撤去復旧、インターロッキングブロック撤去復旧について	図番M-04よりL棟及びM棟の共同溝外のφ50mm配管布設にてアスファルト舗装やインターロッキングブロックの箇所の記載がありません。又、数量書に解体復旧の項目がありませんでした。このような場合は数量書の項目を追加するのか、土工事の1式の中に追記するのか回答をお願いします。	土工事1式に追記をお願い致します。
5	地中埋設標について	図面M-01で地中埋設標を設けるとあるが、範囲は共同溝を除く部分と考えてよろしいでしょうか。回答をお願いします。	共同溝を除く部分としてください。

## 令和3年度静岡県立こども病院医師宿舎等水道管改修工事 質疑に対する回答

No.	質問事項	質問内容	回答
6	G棟、F棟の給水管への接続、第1止水栓の設置について	工事の対象となるL棟、M棟にはメーターバイパスユニットの設置がありますが、G棟、F棟も同様に直圧化になるため、こちらの給水管にも第1止水栓以降にメーターバイパスユニットの設置が必要になるという水道局の指示があると思われませんが、参考数量書には記載がありません。回答をお願いします。	L棟・M棟についてはメーターバイパスユニット設置の指示がありましたが、G棟・F棟については3階直圧にらず水道局からの指示もきておりませんので不要です。
7	給水管の切替後について	図番M-04共同構内詳細図に新設配管終了後に既設給水管の撤去と記載されていますが、撤去すると書庫の隣にある浄化槽の補給水が供給されないと思われします。回答をお願いします。	ご指摘の通りです。保育所部分から配管を延長し接続する必要があります。
8	第1止水栓50A設置について	図番M-04より共同溝から各建物に接続時に第1止水栓を設置と記載されておりますが、保育所の箇所では止水栓の設置の記載がありません、こちらの場合は止水栓の設置が必要か、回答をお願いします。	保育所については既設止水栓が設置されているので不要です。
9	凡例について	図番M-04より凡例に再利用品(△)の記載がありますが、図番M-4の図面上には再利用品の表記(△)がありません。再利用品がないと判断してよろしいでしょうか。回答をお願いします。	再利用品はありません。
10	共同溝穴あけ貫通について	図番M-04より共同溝からL棟への配管布設箇所には、共同溝穴あけ貫通と記載がありますが、M棟,G棟,F棟及び保育所への配管布設について共同溝穴あけ貫通の記載がありませんが、こちらは穴あけ貫通処理をすると判断してよろしいでしょうか。回答をお願いします。	穴あけ貫通処理を行うと考えてください。
11	50A地中配管について	図番M-04よりM棟、L棟の第1止水栓から建物の量水器間の地中配管50Aについての記載が数量書に記載がありません。水道配水用ポリエチレン管の50Aを追記があると判断してよろしいでしょうか。回答をお願いします。	数量書上、水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管にて計上しているため、水道配水用ポリエチレン管としてください。
12	L棟、M棟の50Aの立上配管について	図番M-09及びM-17、数量書より給水管の立上配管にフレキシブルジョイントが記載されておませんが、取付けの必要が無いのでしょうか。回答をお願いします。	フレキシブルジョイントの取付が必要となります。

## 令和3年度静岡県立こども病院医師宿舎等水道管改修工事 質疑に対する回答

No.	質問事項	質問内容	回答
13	配管支持架台について	L棟及びM棟の豎管部、廊下横走部にも支持架台等が必要と思われませんが、図面に記載がなく、数量書にも記載がありませんでした。回答をお願いします。	公共建築改修工事標準仕様書に記載の通りの形鋼振止め支持が必要となります。
14	弁撤去について	図番M-05より撤去対象の立管に接続している仕切弁及びエア抜弁も撤去対象かと思われませんが、数量書には仕切弁及びエア抜き弁撤去の項目がありません、回答をお願いします。	撤去対象ですが、公共建築積算基準では65以下の弁類は配管と同時に撤去されるものとし計上しない為、計上していません。1階床上既設バルブについては残置としバルブ止めと考慮してください。
15	既設配管切断接続について	図番M-05及び図番M-09に記載している切断箇所について、数量書には給水設備工事に切断・接続費と撤去工事には既設配管切断費と記載されておりますが、撤去工事の方では切断費を給水設備工事では接続費を見ればよろしいでしょうか。回答をお願いします。	撤去工事で切断費、給水設備工事で接続費で問題ありません。
16	仮設・養生費について	数量書の給水設備工事(屋外)の欄に仮設・養生費が記載されていますが、どの部分かご指示願います。	共同構内送風機設置、安全誘導員、清掃費等を見込んでおります。
17	足場工事について	図番M-01の特記仕様書の共通工事11足場その他には、外部足場はA種枠組足場となっておりますが、図番M-10、M-18には単管本足場となっております。どちらが正しいでしょうか。また、手すり共W550と表記されておりますが、手すりや階段等を取り付けるとなるとW550では足りないと思われまして、外部足場に防護シート等の養生が必要かと思われまして、防護シートに関して特記仕様書や図面にも注記がありません。回答をお願いします。	単管本足場を正とし、W550とありますがW1800として下さい(数量書としてはW1800にて計上してあります)。ネット状養生シートも見込んでください。
18	非破壊検査について	図番M-01の特記仕様書の共通工事19非破壊検査には、床は放射線透過検査、壁はレーダー探査と記載されております。図番M-10(L棟)、M-18(M棟)の穴あけ補修箇所において壁に穴を開けますので、レーダー探査のみということよろしいでしょうか。又、図番M-03(屋外共同溝の穴あけ貫通ヶ所)もレーダー探査が必要でしょうか回答をお願いします。	構造上重要ではない為、探査不要としてください。

## 令和3年度静岡県立こども病院医師宿舎等水道管改修工事 質疑に対する回答

No.	質問事項	質問内容	回答
19	M-02 給水管材	特記では屋外土中埋設の50A以上は水道配水用ポリエチレン管で40A以下はVDとなっておりますが、参考数量書ではL棟とM棟で10mと9mが50AのVDになっています。特記を正と考えてよろしいでしょうか。 同様に共同溝内についても明記が無い為、水道配水用ポリエチレン管としてよろしいでしょうか。その場合、保温は不要としてよろしいでしょうか。	特記を正とし、水道配水用ポリエチレン管としてください。共同溝内も同様に水道配水用ポリエチレン管とし保温は不要です。
20	M-03,04 屋外配管更新	改修前の図面で凡例の撤去に該当する部分は確認できませんが、改修後の図面に「共同溝内参考図」があり、そこには「既設給水管(新設配管切替後撤去)」と書かれています。参考数量書には該当が無いことから、屋外配管の既設撤去は不要(残置)と考えてよろしいでしょうか。但し、その場合においても既設接続箇所は撤去が必要になると存じます。既設撤去範囲を御指示ください。 南側既設引込管50Aについてもどのように考えれば良いか御指示ください。	既設給水管の撤去は不要(残置)としてください。既設接続箇所は必要最低限とし、1m程度としてください。南側既設引込管については閉栓工事を見込んでください。
21	給水量	L棟、M棟共に既設給水主管サイズは65Aです。改修後に50Aとなることは確認済みと考えてよろしいでしょうか。	確認済みですので、50Aで問題ありません。
22	見積項目 区分	屋外とL棟、M棟で項目を分けておりますが、屋外と各棟との境界としましては共同溝までを屋外、共同溝から出た屋外埋設以降を各棟の見積項目で考えてよろしいでしょうか。 もしくは共同溝から出たすぐの第一止水栓までを屋外、それ以降を各棟と考えればよいでしょうか。	共同溝から出たすぐの第一止水栓までを屋外、それ以降を各棟と考えております。
23	水質検査	直結給水化に改修されるので、工事完了後の水質検査は不要と考えてよろしいでしょうか。必要であれば何項目か御指示ください。	不要です。

## 令和3年度静岡県立こども病院医師宿舎等水道管改修工事 質疑に対する回答

No.	質問事項	質問内容	回答
24	M-02 上水道加入金	特記では本工事の表現となっていますが、静岡市は不要と思われます。 加入金は不要と考えてよろしいでしょうか。	上水道へ確認の上、必要であれば別途とします。
25	M-04 給水引込工事	引込工事の範囲・内容の詳細を御指示願います。(水道局と打合せ済みで、もし可能でしたら、御担当者を教えて頂ければと存じます。 引込箇所にはバルブが設置済みでしょうか。 又は、図面記載の「市水本管より引込み75A」について、「既設引込管100Aより直圧系統にて給水管75Aで分岐」と解釈してよろしいでしょうか。	引込み箇所にはバルブ設置済みです。既設引込管100Aより直圧系統にて給水管75Aで分岐と考えて問題ありません。
26	水抜き水張り	給水管切替後、全戸に水抜き水張り作業が必要になると存じます。参考数量書には記載がございませんが、必要と考えてよろしいでしょうか。	必要です。
27	M-05,06,09 M-14,15,16 既設撤去範囲	既設撤去図では系統図及び平面図にて1階床上のバルブ撤去、床下にてプラグ止めの表現ですが、改修後系統図では床上バルブまで残置として以降撤去の表現となっています。後者を正とし、既設は0階床上既設バルブ止めと考えてよろしいでしょうか。	後者を正とし、1階床上既設バルブ止めと考えてください。
28	土工事の残土処理について	図番M-01の共通工事13残土処分にて構内敷きならしと記載がありますが、カルバート内・外部給水工事とM棟給水設備工事の土工事範囲は構内道路上になる為、埋戻しは発生土ではなく碎石(購入土)埋戻しになるのが通常だと思われませんが、発生土の埋戻しでよろしいでしょうか。また、構内道路の土工事の発生土の残土処理は場外搬出なのか構内敷きならしなのかご指示をお願いします。	山砂巻きの発生土埋戻しとし、残土については場外搬出として下さい。但し、現場にて調整が必要となります。

令和3年度静岡県立こども病院医師宿舎等水道管改修工事 質疑に対する回答

No.	質問事項	質問内容	回答
29	既設配管切断・接続について	図番M-05、M-14の立管切断箇所ではGV32の下(ピット内)で切断と表記しておりますが、図番M-09、M-17ではバルブが残っているため、GV31の上(PS内)で切断になっております。どちらが正しいでしょうか。回答をお願いいたします。	M-09,M-17を正とし、1階床上既設バルブ止めと考えてください。
30	撤去工事	M-04配置図(改修後)の共同構内参考図に「既設給水管(新設配管切替後撤去)」と記載がありますが、M-03配置図(改修前)に撤去範囲が図示されていません。撤去工事は別途と考えて宜しいでしょうか。	M-04の共同溝参考図にあります、配管切替後撤去が誤りの為、共同構内既設配管は残置としてください。
31	給水工事	M-04配置図(改修後)に「市水本管より引き込み75A」と記載がありますが、参考数量書に同項目の記載がありません。既に引き込まれているものと考えて宜しいでしょうか。(量水器ボックス含む)	既設引込管100Aより直圧系統にて給水管75Aで分岐と考えてください。

担当 静岡県立こども病院 会計課企画管財係  
電話 054-247-6251(代表)